

育成就労・特定技能の要点を解説 セミナーの開催情報を発表

2026.01.23

広島県は令和8年1月23日、外国人材の雇用に関する制度解説セミナー「育成就労・特定技能の気になる要点解説」の開催情報を発表した。

セミナーは2月4日にエソール広島で開催され、育成就労制度の概要や、特定技能の工業製品製造業・物流倉庫・介護・飲食料品製造業などの分野別の受け入れポイントを解説した。

講師は外国人雇用問題に詳しい弁護士法人Global HR Strategyの杉田昌平代表社員弁護士が務めた。

対象は外国人材の雇用を検討・実施中の企業のほか、県内監理団体・登録支援機関、経済団体、市町の担当職員など。

主催は広島県商工労働局産業人材課である。

参加無料 企業の人材確保・外国人受け入れをご検討の皆さまへ

育成就労制度 セミナー

～育成就労制度と特定技能制度を踏まえた今後の外国人雇用～

育成就労制度の概要や特定技能制度との違い、
実際の受入企業の取組事例まで、専門家がわかりやすく解説します。
制度の理解を深め、外国人材の活躍につながるヒントをお届けします！

お申込みは
こちら！
申込締切
8月17日まで

日時 2026年
8月21日 金
14:00～16:30 (受付13:30～)

会場 東広島イノベーションミライノ
(東広島市西条岡町10-10) **オンライン**
ハイブリッド開催

対象 外国人材の受け入れを検討している、
またはすでに受入れている企業の経営者・人事担当者

定員 対面参加：30名（先着順）

講師

このような企業におすすめ！

- ☐ 人材不足に悩んでいる
- ☐ 外国人材の採用を検討している
- ☐ 技能実習制度からの変更点を知りたい
- ☐ 特定技能制度との違いを理解したい
- ☐ 受入企業の事例を聞きたい

セミナー内容

第1部 在留資格の基礎知識と外国人雇用の状況
・在留資格とは何か

出典：広島県ホームページ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/foreigner-emp/r7demaekouza7.html>

外国人材の職場定着に取り組む 企業の事例を紹介

2026.03.09

広島県は令和8年3月9日、外国人材の職場定着などに積極的に取り組む県内企業の事例を紹介するページを公開した。

人口減少や人手不足が深刻化する中、外国人材を貴重な戦力として位置づける企業が増えていることを背景に、実践的な取組内容を県内企業間で共有する狙いがある。事例集では、採用のきっかけや職場定着に向けた工夫、外国人材本人の声などがまとめられている。

県商工労働局産業人材課が所管し、順次更新されている。

外国人材の雇用を検討する企業が参考にできる資料として、県の情報サイト「外国人の雇用」で公開されている。



インドネシア人バス運転士が入社 広島交通で初の外国人ドライバー

2026.04.16

広島交通は令和8年4月16日、バス運転手の人手不足解消に向け、インドネシアから来日した外国人2人の入社式を開催した。

同社にとって外国人バス運転手の採用は初めてで、在留資格「特定技能」の対象におとしバスやトラックなどの自動車運送業が追加されたことを受けた取り組みである。

同社によると、バス運転手の数は10年前と比べて約2割減少しており、人手不足が大きな課題となっていた。

入社したサエフルさんは「プロの運転手として人生を歩みたい」と意欲を語った。

2人は今後、国内で運転者教育などを受けたうえで、秋ごろの運転手デビューを目指す。



出典：HOME広島ホームテレビ https://www.home-tv.co.jp/news/content/?news_id=20260416344669

外国籍の子にマンツーマン指導 東広島市の日本語教室が好評

2026.05.08

東広島市教育委員会が運営する「日本語初期指導教室」の利用が増えていると、令和8年5月8日付で報じられた。

海外から同市に転居し、市立小中学校への入学を控えた外国籍の子どもを対象に、転入学前の20日間、元英語教諭らが一対一で日本語の基礎を教える取り組みである。異国での学校生活の滑り出しをきめ細かく支援する内容で、県内の自治体でも珍しい試みだという。保護者からも好評で、地域の多文化共生を支える取組の一つとして注目されている。



育成就労制度の開始1年前 江田島市が外国人サポート体制を強化

2026.05.10

国の新しい技能実習制度「育成就労」が1年後の令和9年4月に始まるのを前に、江田島市は令和8年度、外国人の受け入れ体制を強化したと、令和8年5月10日付で報じられた。

定住や永住のサポート、地域での共生の推進を担う専属の担当者を倍増したという。

同市では、住民基本台帳を基にした人口移動調査で在住外国人の増加が転入超過の要因となるなど、外国人住民の存在感が増している。

広島県内の他都市でも、日本語教育や居住環境の支援など関連予算を拡充する動きが出ている。

広島県内の市が本年度に取り組む外国人関連の 主な新規・拡充事業	
福山	日本語を初めて学ぶ外国人向けの初期日本語教室の開催日を10倍に
廿日市	日本語教育のボランティア養成やスキルアップの予算を拡充
三次	介護分野の技能実習生の受け入れ企業に家電購入費などを助成
安芸高田	地域と外国人が交流する行事の予算を増額
江田島	地域共生マネージャーを新設。多文化共生相談員を増員

特定技能1号への移行を後押し 日本語学習支援の参加企業を募集

2026.06.01

広島県は令和8年度、育成就労制度の開始を見据え、外国人材の日本語学習を支援する「外国人材日本語学習支援」の参加企業募集を令和8年6月1日に開始した。

特定技能1号への円滑な移行に向け、外国人材向けのeラーニングと、受け入れ企業向けのコーチング支援を組み合わせ提供する。

対象は広島県内で外国人材を雇用している企業で、定員は100社。

提供期間は令和8年7月1日から令和9年2月26日までを予定している。

人手不足が深刻化する中、外国人材の定着に向けた日本語能力の底上げを後押しする取り組みである。



特定技能1号の6人が入社 技能実習を経ない同社初のケース

2026.06.01

船舶塗装業のひまわり工業（広島県福山市明王台）に、
「特定技能1号」の在留資格を持つ外国人6人が新たに加
わったと、令和8年6月1日付で報じられた。
技能実習を経ずに試験に合格して来日した人材を受け入
れるのは同社にとって初めてのケースだという。
多様性を重視した経営方針が、今回の受け入れにつなが
ったとされる。
入社した6人は真新しい作業服姿で、仕事への意欲を見
せているという。

